

# Panasonic<sup>®</sup> 漏電ブレーカ B JW型・BKW型 BKW-M型

8M6 313 008

施工説明書

取扱説明書

<対象製品品番はカタログなどでご確認ください>

## 施工説明書

施工店様へ

- 施工には電気工事士の資格が必要です。
- 施工前に必ずお読み頂き、確実に配線してください。
- 施工完了後、この説明書を必ず取扱者様へお渡しください。

### 安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

## 危険



必ず守る

- 施工・点検時には必ず主電源を切る  
電源が入ったままの施工は感電の原因になります。
- 線間電圧による感電の保護はできません  
2本の電線を握ると感電し、漏電動作はしません。

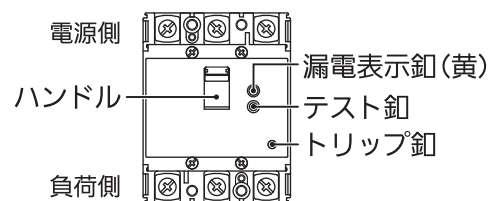
## 注意



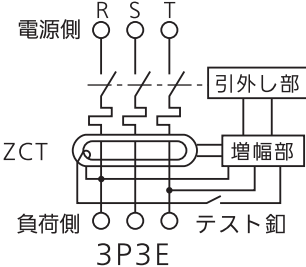
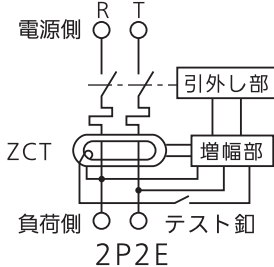
必ず守る

- 端子ねじは標準締付トルクで  
確実に締付ける  
端子ねじのゆるみは発熱・  
発火の原因になります。

### ■各部のなまえ（BJW型）



### ■回路図（2P2E・3P3E）

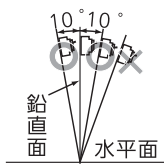


### ■施工上のご注意

- 結線は、電源側と負荷側をまちがいなく接続してください。
- 時延型とBKW-50S・60S・100S・225・400を415 V回路に使用時は逆接続できません。
- 温度・湿度・粉塵・腐食性ガス・振動・衝撃・直射日光など、異常な周囲環境での使用は避けてください。
  - 使用周囲温度：－10℃～＋60℃
  - 使用相対湿度：45％～85％（盤内で40℃を超え50℃以下の場合80％以下、50℃を超え60℃以下の場合70％以下の負荷電流率としてください）
- 施工時、機器内部に異物（電線クズや壁材など）が入らないようにしてください。
- モータ回路にご使用の場合は、モータの定格電流に適合した機器を選定してください。
- 3Pを1φ3Wに使用する場合は中性線を中極に、電圧線（200 V）を両端極に接続してください。  
（負荷側の電圧を確認してください。この時、中性線欠相保護はできません）
- ブレーカの動作で2次的な影響を受ける負荷には、警報回路を併用してください。（内線規程1360-17）
- 周波数制御回路（インバータ機器）には配線保護用として1次側に設置してください。  
（インバータ回路には、モータ保護用としては使用できません）
- 負荷機器には必ずアースを取ってください。
- 過電流引外し方式が電磁式タイプ（BJW-30・50・60・75・125,BKW-30・30C・50・50C・50S・60・60S・100・125,BKW-30M・30CM・50M・50SM・100M）は、鉛直面に対して±10°以内に取付けてください。
- フルアップ端子(M5・M6)への直付接続
  - より線の直付け接続は、ふり分けて差込み接続してください。
  - 2本の電線を同一端子に接続される場合は、右表の組み合わせ以外はお避けください。（3本以上は不可）  
特により線の場合は圧着端子の使用をおすすめします。  
M6の場合は必ず圧着端子をご使用ください。
- 結線後、ハンドルをONにしてからテスト釦を押して動作の確認をしてください。  
（再投入する場合はハンドルをOFFにしてからONにしてください）
- 線間絶縁測定は電線を外して電線で行ってください。
- トリップ釦は警報スイッチ、補助スイッチ（オプション）のシーケンスチェックにご使用ください。
- 端子ねじは標準締付トルクで確実に締付けてください。  
接続不良は、発熱・発火の原因や中性線欠相事故による負荷機器の故障の原因になります。



| ねじ径 | 単線        | より線                                       |
|-----|-----------|-------------------------------------------|
| M5  | φ1.6とφ1.6 | 3.5 mm <sup>2</sup> と3.5 mm <sup>2</sup>  |
|     | φ1.6とφ2.0 | 3.5 mm <sup>2</sup> と5.5 mm <sup>2</sup>  |
|     | φ1.6とφ2.6 | 3.5 mm <sup>2</sup> と8.0 mm <sup>2</sup>  |
|     | φ2.0とφ2.0 | 5.5 mm <sup>2</sup> と5.5 mm <sup>2</sup>  |
|     | φ2.0とφ2.6 | 5.5 mm <sup>2</sup> と8.0 mm <sup>2</sup>  |
|     | φ2.6とφ2.6 | 8.0 mm <sup>2</sup> と8.0 mm <sup>2</sup>  |
|     | —         | 8.0 mm <sup>2</sup> と14.0 mm <sup>2</sup> |



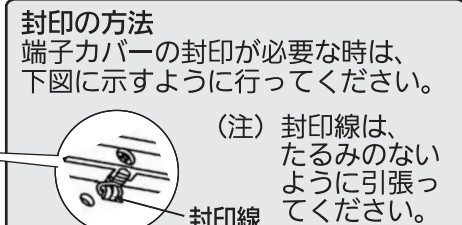
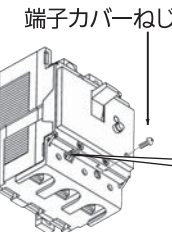
| フレーム                       | ねじ径 | 標準締付トルク      |
|----------------------------|-----|--------------|
| 30 AF・50 AF・60 AF (50 A以下) | M5  | 2.0～2.5 N・m  |
| 60 AF (60 A)・75 AF         | M6  | 3.0～4.0 N・m  |
| 100 AF・125 AF・150 AF       | M8  | 5.5～7.0 N・m  |
| 225 AF・250 AF              | M8  | 8.0～13.0 N・m |

●同梱圧着端子（BJW型75～250AF）

| フレーム             | 定格電流                   | 圧着端子仕様               |
|------------------|------------------------|----------------------|
| 75 AF            | 75 A                   | CB 22-6S             |
| 100 AF           | 60・75 A                | 22-8                 |
| 125 AF           | 100・125 A              | 38-8S                |
| 150 AF           | 125・150 A              | CB 60-8              |
| 225 AF<br>250 AF | 125・150 A              | 60-8                 |
|                  | 175・200・225 A<br>250 A | CB 100-8<br>CB 150-8 |

### ■端子カバーの施工

- 端子カバーは、BJW型にのみ付属されています。（他は別売となります）
- 端子カバーを固定される場合は、  
端子カバーねじ(M3×6)をご使用ください。  
（125 AF以下は付属されています）



## 取扱説明書

（保管用）

取扱者様へ

- お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 点検・交換には電気工事士の資格が必要です。
  - 取扱前に説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
  - この説明書は必ず保管してください。

### 安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

## 危険



禁止

- 端子部には  
さわらない  
感電の原因に  
なります。

## 注意



必ず守る

- 点検や修理は電気工事店へ依頼する（この説明書を提示する）  
不良工事は感電や火災の原因になります。
- 電気工事店へ5年に1回程度、端子ねじの増締め依頼をする  
端子ねじのゆるみは発熱・発火の原因になります。

### ■取扱上のご注意

- 定期的にテスト釦を押して、ハンドルが中立（トリップ）状態となり、漏電表示釦(黄)がとび出していることを確認してください。テスト釦を押しても動作しない時は故障ですので電気工事店へ点検・交換を依頼してください。
- テスト釦をOFF操作には使わないでください。
- ブレーカが動作した時（漏電表示釦(黄)がとび出していない時）は使用機器を減らした後、ハンドルをOFFにしてからONにしてください。
- ハンドルの再投入（ON）後、即動作する時は負荷回路が短絡状態か、ブレーカが異常です。  
電気工事店へ点検を依頼してください。
- 漏電ブレーカの動作を確実にするため負荷機器にアースを必ず取ってください。

### ■漏電表示釦(黄)がとび出した時の処置

#### 漏電ブレーカが主幹設置の場合

- ①分岐ブレーカのスイッチをすべてOFFにする。
  - ②漏電ブレーカ（主幹）をONにする。
  - ③分岐ブレーカのスイッチを順にONにする。
  - ④漏電ブレーカ（主幹）が動作した回路が漏電しています。  
（電気工事店に点検を依頼してください）
- 漏電している分岐ブレーカのスイッチのみOFFにし、  
その他のスイッチはONにしておいてください。

#### 漏電ブレーカが分岐設置の場合

- 動作したブレーカの回路が漏電しています。  
（電気工事店に点検を依頼してください）

#### 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

施工店

電話

パナソニック株式会社

パナソニック スイッチギアシステムズ株式会社

〒571-8686 大阪府門真市門真 1048 番地 TEL（代表）06-6908-1131

© Panasonic Corporation 2012

8M6 313 008

KS0404-80318